

様式 - A

用語	低水路	高水敷	天端	堤外地・堤内地
よみ	ていすいろ	こうすいじき	てんば	ていないち・ていがいち
解説	通常(洪水でない時)川の水が流れる部分。	低水路より一段高く、洪水時には川の水が流れる所。グラウンドや公園など、さまざまな形で利用される。	堤防の一番高い面。天端は道路として利用されている所もある。	堤防の河川側が「堤外地」、住宅や町などがある側が「堤内地」。もともと輪中の地区など土地を堤防で囲んで人が住んでいたため、「堤内地」という言葉が生まれた。
用例 (主に活用される場面)	雨は降っていないので、川の水は低水路を流れています。	川の水位が上がって高水敷にも川の水が流れはじめました。	天端に水防の資材が準備してあります。水位が天端まで、あと m に達した。	私達は堤内地に住んでいます。河川は堤外地を流れています。
関連用語・類似用語				
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	洪水により水位が上がると、高水敷にも川の水が流れるのでグラウンドや公園の利用は大変危険であり、早めに避難する必要があります。		天端は洪水時には水防活動で使用するので妨げにならないようにする必要があります。過去の水害でも天端に駐車された車のため、水防活動の妨げになったことがある。	